

終わりに

～新たな観光拠点の形成に向けて～

大阪では、その成長をより確実なものとするため、アジアの経済成長や訪日外国人数の増加など、大阪を取り巻く状況の変化も踏まえ、内外の集客力強化に取り組んでいる。

「夢洲まちづくり構想(案)中間とりまとめ」は、こうした大阪の成長に向けた新たな取組みとして、展示場や会議場などのMICE機能と国際的エンターテインメントや文化・芸術などの機能を集積させた、新たな魅力のある観光拠点の形成や大阪・関西の既存の観光資源などとネットワークの強化による、大阪・関西への波及効果の高まりなどを軸としたまちづくりに関する方向性を取りまとめたものである。

新たな観光拠点の集客等の効果を高めるためには、大阪・関西の玄関口にふさわしく、観光拠点の新しい顔となる魅力的な非日常空間を創出する必要があり、夢洲における物流をはじめとした既存機能との共存や交通インフラの整備などとともに、引き続き検討を進めていく。

夢洲まちづくり構想検討会においては、実現性や波及効果の高い新たな拠点形成をめざし、「夢洲まちづくり構想(案)中間とりまとめ」を基に、民間事業者などの関係者の創意・工夫や意見を反映させた「夢洲まちづくり構想(案)」を作成していく予定である。また、最終的には、地域の声を取り入れ、夢洲まちづくり構想を策定するものである。

